

新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動の計画検討上のポイント

		ガイドライン項目	実行委員会で実施する施策
1. スカウト（参加者、付添者など含む）・家庭への事前連絡、確認事項			
①	a	体調の管理・確認をする。(検温、発熱等の状況)「自分がうつらない」「人にうつさない」を基本とする。	実施2週間前の体調・体温を記録する「体調管理シート」を事前に配布し、当日回収する。当日受付時には検温を実施し、37.5℃以上の体温の者は参加させない。
②	b	家庭(保護者)への活動内容の説明と参加への同意。	2月に各団に実施内容を伝達、その後、各団で参加者を募る際に、各家庭の同意をもらった上で申込みをしてもらう。
③	c	個人の備え(新しい生活様式での生活習慣への対応：手洗い、マスク着用、咳エチケットなど)。	参加者に各団・各隊指導者より、指導を再度徹底するよう呼びかける。マスク着用については、実施要項配布時に説明する。
2. 指導者が準備しておくこと			
④	a	指導者自身の体調管理と個人の備えの確認。(全指導者)	実施2週間前の体調・体温を記録する「体調管理シート」を事前に配布し、当日回収する。当日受付時には検温を実施し、37.5℃以上の体温の者は参加させない。
3. 活動場所(空間)			
⑤	a	活動場所については、換気のよい、密集をさけた空間を選ぶなどの工夫を行う。	終日屋外で活動を実施する。
⑥	b	室内などでは、密集をさける人数、広さなどを考慮する。	室内での活動はない。
⑦	c	室内であれば、換気を定期的に行う。可能な限り窓等を開けて実施することが望ましい。	室内での活動はない。
⑧	d	夏季に向かって高温多湿となる季節では、熱中症の対策も考慮する。室内で冷房などを利用する場合でも、換気を行う。	今回は冬季の活動であるため、熱中症の恐れはない。
⑨	e	団本部の施設を利用する場合は、利用頻度の高い場所等こまめに消毒等を行う。特に集会の前後等は必ず行う。	今回は団本部など日常的に利用する施設は使用しない。
⑩	f	ふだんから占有して利用できる施設、野営場など施設のルールに従うこと、ない場合は独自にルールを定めて利用する。	西宮市の指示「公園を利用される際に注意していただきたいこと」に従い活動する。
4. 備品、用具			
⑪	a	複数人で使用を共有する器具等の消毒を使用前、使用後に消毒する。	プログラムに使用する備品は各班で消毒を行う。
⑫	b	消毒薬等の用意をする。	各班には、普段の活動で利用している消毒液を持参させる。また、救護安全委員会でも消毒液等を準備する。
⑬	c	使用にあたっての利用者自身の手指消毒を行う。	いつでも手指消毒ができるよう、各班が利用できる消毒液をそれぞれの責任において準備する。
5. 飲食			
⑭	a	食事を集団で行うことは、感染リスクが高くなるので、スカウトの年代、プログラム内容などを含めて検討を行う。	各班で感染予防(向かい合わない、食事での会話を控える等)を実施。
⑮	b	飲食に関しては、日帰りプログラムであれば、個人の持参による対応とし、食事の際も消毒、手洗い、空間の確保に配慮する。	飲食物は個人で持参する。
⑯	c	調理プログラムについては、地域の状況などにより検討を行うものとする。	調理プログラムは伴わない。
⑰	d	飲料については、「熱中症対策」として必須となるので、個人の持参への補充などについても検討し、取り扱いについては注意をする。	日帰り活動のため、個人で持参分のみで問題ない。
6. 休憩、トイレ等			
⑱	a	トイレ等、多くの人が触れるモノに触れた後は、手洗い、アルコール消毒を行う。	各班で消毒を行う。
⑲	b	休憩時は、3つの密にならないように注意する。	実行委員会で観察し、なった場合は直ちに是正する。
⑳	c	スカウトの年代、参加人数などにより、3つの密にならないように指導者、補助者が目配りできるように配慮する。	実行委員会で観察し、なった場合は直ちに是正する。
7. 集会、ゲーム等、活動での工夫			
㉑	a	セレモニーやゲームなどをスカウト年代、参加人数、会場の広さなどを考慮して、検討する。	終日屋外で活動を実施する。
㉒	b	ソングを歌う際は、できる限り距離を取る(セレモニーなどの集合時も同様な配慮を行う)。	ソングはマスク着用状態で行うものとし、距離を取る。
㉓	c	集会内容について、飛沫感染、接触感染に注意し、無理のない活動を計画する。	終日屋外での活動とするが、感染のリスクの高い場面があることを考慮し、安全対策計画を立てる。
8. 活動に際しての移動時の注意事項			
㉔	a	公共交通機関を利用する場合は、混んでいる時間帯は避けて利用する。	遠方の参加者のみ公共交通機関を使用する。利用時間については混雑が予想される時間帯ではない。
㉕	b	マスクの着用、周りの人との距離を確保できるよう分散乗車、会話は控えめにする。	各団・班による移動となるため分散乗車となる。
㉖	c	集会場へ到着した際に、手洗いや手指消毒ができるようにする。	到着時の手指消毒アルコールは実行委員会で準備する。

9. 新しい生活様式を定型化する			
27	a	各隊・団で活動を行う際の活動計画チェックリストなどを作成する。	各隊・団の活動計画チェックリストを確認する。
29	b	手洗い、マスクなど活動の中で一定のルールを決めて、スカウトが取り組めるように工夫する。	各隊・団の活動計画チェックリストを確認する。
10. ガイドライン項目以外の対策			
30	参加者本人または参加者の家族が耐寒訓練当日前に発熱等COVID-19と疑われる症状が出た場合、適切な手順を踏んで医療機関を受診する。		
31	参加者本人または参加者の家族が耐寒訓練当日後に発熱等COVID-19と疑われる症状が出た場合、適切な手順を踏んで医療機関を受診する。 参加者は、医療機関を受診した場合、直ちに所属団委員長に連絡し、団委員長経由で地区委員長に報告する。		

◎COVID-19の感染が疑われる症状等があり、医療機関を受診した場合の連絡経路

※連絡は、検査等の実施をしたかしないかに関わらず行うものとする

※医療機関の受診結果、検査結果等が判明した場合は直ちに連絡・報告する

